# 現代民俗学会第２回運営委員会 議事録

日時：2008 年 6 月 22 日 13:00～15:30
場所：早稲田大学人間科学部 所沢総合事務センター分室
出席：宮本・石本・小川・菅・塚原・徳丸・花木・古家・渡部
委任：小島・八木・板橋・高桑

## １．役割分担

各委員の役割分担はつぎのとおり決定した。
会長：宮本
総務・運営委員長：古家
会計：石本・大里（院）・花木（院）
編集：小川（編集長）・小島・八木・渡部・前川（院）
研究会：佐野・菅・徳丸・塚原（院）
渉外：荒川（院）・泉田（院）・松岡（院）
ホームページ：柏木（院）
監査：板橋・高桑

## ２．事業計画

（1）研究会 本年度は下記の予定で 3 回開催する。
第 1 回研究会 9 月
第 2 回研究会 12 月（京都にて開催の予定）
第 3 回研究会 2～3 月
※科研報告会や院生ベースの研究会もひきつづき企画し、研究会のシリーズに加えていく。
（2）会 誌 来年 5 月を目途に「１号」として刊行する。
内 容： 個別研究ではなく、現代民俗学会の主旨や民俗学のおかれた現状を論じるためのまとまりをもたせる必要がある。研究会を含め、初年度（

第 1 号）の大テーマは“現代民俗学とは何か”“民俗学の現代”とする予定である。

なお大テーマに関しては、大学人中心の企画とすることの是非、学芸員や博物館関係者の取り込みの必要などについても意見がかわされた。

形 式：　１号に関しては、一般投稿は受け付けず依頼原稿とし、論文および書評で構成する。第２号以降の一般公募を早めに行う。

（これらの作業については小川編集長に一任された）

投稿区分：「研究論文＋コメント」「書評論文」「外文紹介」とする。「書評論文」は本格的な分野レビューとする必要がある。また外文紹介の充実も重要である。

（３）大 会　来年 5～6 月に開催予定の第 2 回大会については、漸次内容を検討する。

## ３．その他

・会員への活動状況の報告が必要であり、メールマガジンやウェブサイトの活用を図る必要があることなどが確認された。

・会員の入会は運営委員会で承認する。

・議事録はサイト上でも会員に公開する。なおサイト掲載にあたっては事前に会員にメールで周知する。

以上